



# 神奈川県環境学習リーダー会

## 会 報

No. 32 2003年  
4月 5月

### 役員会報告 (事務局長 山田あや子)

特別役員会 4月2日(水)・・総会準備

1. 総会資料の最終確認
2. 司会・議長・各議案発表者確認

4月役員会 4月26日(土)

総会終了後、近藤代表を中心に新役員により開催  
平成 15 年度の事業を進める上での留意事項を確認した。

また、役員会は毎月第2月曜日に開催することとした。

5月役員会 5月12日(月)

1. 総会の総括  
改定後の規約・会員名簿(別添)の確認  
役員会交通費支給は、実費の30%とする。
2. 年間行事と担当を下記のように決定  
親子で楽しむ環境展 6月8日 山田  
子ども環境体験教室 7月~8月 木本  
市民環境活動報告会 2月 石丸

### 新代表 近藤作司氏に聞く

この4月26日のK・リーダー会の総会において、  
新代表に決定した近藤作司さんに今後のK・リーダ  
ー会の運営についての抱負をお伺いしました。

Q 新代表に就任し  
た現在の心境をお  
聞かせください。

A 歴代代表をはじめ  
旧役員、先輩の  
皆様方のご努力  
により当会の活  
動は、年々活発に  
なっています。そ  
れを一層発展さ  
せていくことが私に課せられた責務であると感  
じております。ご期待に添えられるかどうか自分  
自身心細い思いがしています。しかし、総会で選  
出されました以上、経験不足ではありますが精一  
杯努力し、この重責を全うする積りです。会員皆  
様のご支援、ご協力をお願いします。



近藤 作司 氏

(次頁へ続く)

カット：ハコネウツギ

本州の太平洋側の海岸に自生し、5~6月にかけて  
咲きます。ろうと状の花は始め白く、しだいに赤  
みを増してゆき、赤と白の花が混じって咲いてい  
るようになります。ハコネの名がついていますが、  
箱根とは関係がないそうです。

意見交換会 11月(自然観察会) 高田  
3月 飛鳥間  
環境教育・学習部会(仮称) 木本、高田、  
石丸、黒澤

- リーダー会パンフレットの改定 広報部
3. NPO化についての検討プロジェクトの参加  
を、会報で会員に呼掛ける。
  4. 監事の役割について明確にするため、規約の  
改定の検討を進める。
  5. 次回役員会 6月9日(月)

かながわ県民センター703号室

13:00~17:00

### 平成 15 年度役員と監事

代表	近藤 作司 (8期)
副代表	石丸 博司 (9期)
事務局長	山田 あや子 (8期)
事務局	高橋 尚道 (7期)
事務局	高田 重直 (10期)
会計担当	柳川 三郎 (9期)
広報部長	黒澤 宏 (10期)
事業担当	

(環境モニタリング部会)	飛鳥間 正郎 (10期)
(エネルギー部会)	萩原 秀人 (6期)
(ケナフ部会)	阿部 洋子 (2期)
(自然環境部会) (兼)	高田 重直 (10期)
(廃棄物・リサイクル部会) (兼)	石丸 博司 (9期)
(新規プロジェクト)	木本 光祖 (8期)

監事	清水 幸夫 (5期)
監事	児玉 勇 (6期)

### 平成 15 年度部会長

環境モニタリング部会	佐伯 秀夫
エネルギー部会	北村 博子
ケナフ部会	荒谷 輝正
自然環境部会	
廃棄物・リサイクル部会	石丸 博司

(前頁から)

また、県環境農政部環境計画課並びに県環境科学センターの関係の皆様には今までに増してご指導、ご鞭撻をお願いしたいと思います。

Q 今後の運営についての基本的な考え方をお聞かせください。

A 平成 15 年度の事業計画の基本方針に記載していることを当会の運営の基本にしたいと考えています。即ち、会員相互の情報交換や研鑽を積極的にいき、習得した知見を地域の環境学習活動と環境保全活動に生かすことにあると思います。それが K・リーダー会としての事業であったり、会員を含む地域団体の活動であってもよいと思います。

環境問題は生き物と同じで、色々な変化があります。その対応は千差万別になるかと思いますが、その都度皆様と討議して決していきたいと考えています。

県では「アジェンダ 21 かながわ」が策定されてから 10 年を経過したのを機に、より実効性のある取組みを進めるために「新アジェンダ 21 かながわ(仮称)」の策定に向けた検討を進めています。現在その「骨子」について意見募集が行なわれています。当会ではこういった機会に、会員が積極的に関与するように働きかけていきます。

また当会会員には、地球温暖化防止活動推進員や環境カウンセラーとして活動されて居られる方が大勢います。お互いの交流と連携を図っていききたいと思います。

今年度の計画には、意見交換会を 2 回開催するこ

とにしていますが、そういう機会だけではなく何時でも会員の忌憚のないご意見を K・リーダー会の運営に反映していく積りで。

Q 現在、当会が抱える課題についてお聞かせください。

A 今年度の総会でも活発な質疑応答や意見交換がありました。先ず会費の改定ですが、承認は得られましたが、予算と事業計画との明確化、一般会計と特別会計基準の明確化などが残されました。対外活動による運営資金確保の是非、NPO 法人格取得の問題。二つの部会(自然環境部会と廃棄物・リサイクル部会)の今後の取組、(仮称)環境教育・学習部会の立上げ(地域環境活動団体のネットワークづくり)など。その他会員の増強、会報の IT 化、情報の公開、総会における審議事項と委任のあり方、監事の役割の明確化などがあります。

Q その中で、今年度重点的に取組みたい課題は何ですか。

A 先ず部会関係をはっきりしたいと思います。新しい取組みを目指しても良し、名称変更でも廃部でも良いが議論を尽くして進みます。次に外部からご依頼があった事業については、積極的に取組みます。その場合の細則をきめます。また最適人材の選任等の場合は、K-leader Mailing List 等を使って募集するようになりたいと思っています。

課題は沢山ありますが、焦らず衆知を集めてじっくり討議し、解決していきたいと考えています。

(広報部 木本 光昶)

## 役員退任の方からのメッセージ

### 情報過多

前代表 清水 幸夫

60 年前のことにさかのぼるが、中学校の合格祝に、父からぜんまい巻きの腕時計を買ってもらった時の感激はいまでも忘れない。その頃、わが家の、時刻の情報源は、振り子式の柱時計であり、ラジオの時報にあわせて、大小の針の調整や動力源であるネジ巻きをよくさせられたものである。

時は流れ、人がお月さまに往復できるほどに科学が発達し、物が豊富になった現在は、時刻についてはどうだろうか、



狭い自分の部屋の置時計だけみても、結婚式の引き出物、新築祝の記念、永年勤続や退社記念で戴いたものだけで数個が、それぞれの“想い出”を刻んでいる。そのうち、愛用しているのはもつともシンプルなひとつである。わたしにとって、時刻の情報源としての置き時計は、もはや過剰在庫であり、情報過多であり、無駄ともいえるが整理しきれないでいる。

ところで、同じようなことがわれわれの環境活動にも言えるかもしれない。環境学習を提供する学習内容をよく吟味して、情報過多の存在にならないように努力したいものであるし、年をとつてもシンプルさを失いたくないものである。

## K・リーダー会 退任して

前事務局長 児玉 勇

退職後、「脱会社人間」「会社でのキャリアを生かそう」という矛盾を抱えたテーマで模索しながら、養成講座を修了し(1998年)、6期生のまとめ役を買って出たらそのまま役員会へ入ることになりました。

最初の1年間は広報担当として、3年間は事務局を担当してもらいましたが、自分なりに60歳の前半、手応えのある時間を過ごすことが出来たと感謝しています。



性格上、体を動かすことは苦になりませんが、楽天的と粗雑さが相俟って拙速さが表れ、ご迷惑をお

かけしたことも多々あると思います。しかし「K・リーダー会」は200名の会員を擁していますが、まだ「発展途上の会」です。

理屈とか形を考えるよりも「地域に密着して活動する」ことを「我武者羅」にやっていく積極さによって「K・リーダー会」が更に認知されることが必要であると思っています。

「全国ボランティアフェスティバル」「親子で楽しむ環境展」「子ども環境体験教室」「相模湖町環境展」「藤沢養護学校」に参加された部会・メンバーの行動力に凄いパワーを感じました。

このパワーをもっともっと生かせる「場」が増えていくことを期待しています。

4年間、ご指導・ご支援、本当に有難うございました。

## 会員の協力を得て

前広報部長 森 千春

2年前、広報部として申請し、会報の編集発行を行ってきました。それ以前も複数人の担当で会報やニュースを発行していましたが、より対外的な取材を行なうために、きちんとした体制を求めたいと発想したことから広報部になったものです。同時に、客観的な視点を持って編集会議を行ってきました。

会報を編集するとき、会員の活動が年々活発になって企画を立てるのに少しも悩むことはありませんでした。「会員の広場」を設けて会員の方に原稿を依頼しても、快く受けてもらったり、積極的に原稿や

情報を寄せてくださる方もいて、編集人冥利につきました。

今後リーダー会がもっと発展し、定期的に学校や職場に環境活動の情報を提供していくことが予想されます。現在の広報部の在り方も変化していくだろうと思いますが、そのとき、広報を担当する者として、一番の頼りは一人一人の会員のみなさんの活動であり、協力です。

私自身は里山の自然観察を続け、写真と文で記録し



て行きます。どこかでまたお会いしましょう。

どうもありがとうございました。

## 3年間の事業担当を終わって

前事業担当 小川 正敏

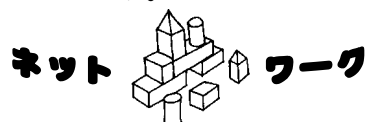
平成12年に役員会の多くが横浜で開催されることで横浜在住の私がケナフ部会の事業担当を引き受け、3年間で過ぎてしまいました。この間、ケナフ部会でも各種展示会やイベント、小学校の授業のお手伝い等に参加し、色々と体験させていただきました。また、環境学習リーダー会の事務局等のご努力もあり、環境保全活動に携わる各種団体の人々との接触や色々の体験をすることができ、大変良い勉強になりました。

就任当時と昨今を比べてみても、会員が多くなったこと、各部会の活動も大変活発になってきたこと、更に、現在、その活動の幅に広がりを感じられます。

例えば展示会だけ見ても平成12年12月10日(日)の全国ボランティアフェスティバル(VF)かながわのプレイベント(パシフィコ横浜)の展示ではケナフ部会1点でしたが、平成13年9月22、23

日(土、日)の全国VFかながわの本番(パシフィコ横浜)では3部会が展示し、平成14年6月9日(日)第1回『親子で楽しむ環境展』(県民センター)では6グループ、平成15年1月26日(日)相模湖町『親子で考える環境展』でも6グループと年々活動が活発になっているからだと思います。今年の6月8日(日)の第2回『親子で楽しむ環境展』では更に賑やかな展示会が期待され、楽しみです。

そもそも神奈川県環境学習リーダー会は会員の年齢、過去の職業、技術、知識、経験、地域活動の経験者など十人十色であり、それに神奈川県全土にわたる人材からなり、そのネットワークもあり、この多種多様であることが強みです。そのネットワークの成果が発揮されて、今日に至ったものと思います。新しい人材が加わり、新しい役員会が発足したことで、更に新しい発想が生まれ、益々発展が期待され、楽しみにしています。



# 総会での主な質疑

K・リーダー会の総会が4月26日に開催され、提案された議案すべてが承認された。各議案に対しては、多くの会員から活発な質問・意見が出された。

主な質疑応答の内容は次のとおり。

## 第1号議案(平成14年度事業報告) 質疑

Q：NPO化及び地域活動の展開についてはどの辺りまで進んでいるのか。

A：NPOについては、当会メンバーがいろいろ環境活動する中から何か特化したものでNPOを検討する形でないか難しいと考える。地域に密着した環境活動に関しては、基本的には、アンケート調査の結果に基づき、地域活動の展開を図りたい。先の意見交換会で、環境教育・学習部会或いは地域活動部会といった緩やかなネットワークを作ってはとの提案と議論があった。結論まで至らなかったが、新代表の新しい体制の下で検討して頂きたい。

## 第2号議案(平成14年度決算報告、会計監査報告) 質疑

Q：特別収入の相模湖町環境展について、収入と支出についても会計監査の対象だったのか。

A：交通費も含め消耗品・経費の見積書を出し、満額を戴いた。当日の環境展のために現地に赴いた人の交通費と弁当代を出した。この内容については、監事に一通り説明している。

Q：特別会計と一般会計を別個にする原則を以前、会計マニュアルに入れて作ったがどうなっているか。対外的な収入があったとき、それは特別会計扱いにする。別会計にすることは大事なことである。

A：会計上特に別会計に集計してやっていくという仕組みになっていなかった。このように活動が活発になってきたのでルールを決めていく時期になったと思う。ルール作りということで話し合っていく。

## 第3号議案(平成15年度役員選出) 質疑省略

## 第4号議案(平成15年度事業計画案) 質疑

Q：事業計画第5項の中の「環境書籍購入への参画」とは、具体的にどういうことか。

A：環境科学センターとかながわ県民センターに配架する環境に関する新刊図書を我々が選び、50冊に絞り購入をお願いした。購入選定ということ。

第5号議案(会費改定案と平成15年度予算案) 質疑  
動議：本件は予算の問題ではあるが、規約改定と絡む問題であり、6号議案と一括ですすめられないか。  
議長：引き続き関連するので、6号議案の説明と5号議案との一括の質疑をお願いする。

## 第6号議案(規約改定案について) 質疑

Q：1人1,000円会費を上げた結果、予備費が15万円となっている。非営利団体である当会が10万円単位の繰越をする必要があるのか。

Q：NPOといっても明確に事業目的とか事業内容・計画に即した予算編成をすべき。

A：実質的に会費のみの運用では約2万円しか残らないのが実態で、たまたま14年度は環境学習アドバイザー制度が始まって、環境学習アドバイザーになった人から寄付を頂くことで何とかなった。この制度も15年度は継続が決まったが、県が来年以降も継続するかどうか分からない。その他、県からの協力要請の殆どは新年度に入ってからくるが、これに協力していくには予備費が必要。

Q：特別会計の問題は、規約第7条にあるのでお互い検討してみたい。一般会計と特別会計をどう仕分けするかについては、15年度運営しながら具体例が出てきたところで考えていって貰いたい。

Q：特別収入の件で、行政との契約関係はどうなっているのか。

A：環境学習アドバイザーについては、契約は個人と県との間で交わされている。当会は、会員の中から推薦をし、その人が自主的に活動している。K・リーダー会に所属しているから環境学習アドバイザーを受けることが出来たと好意的に考えて戴き、寄付の形で出して戴いている。

## その他の規約改定の件

Q：第14条 運営部会は1項と2項を一本化するということか。改定案では、どう発意し、どう事業を実行されるのか明確でなくなるのではないか。

A：運営部会を作ろうとする人が自由に発意して良いということで、役員会に議決を求めて、そこで議決されれば事業を行うことが出来るということである。

(広報部 黒澤 宏)

# 神奈川県環境学習リーダー会 平成 15 年度 事業計画

## 1.基本方針

- ・目的 会員は相互の情報の交換、相互に研鑽を積極的に行い、会員は習得した知見を地域の環境学習活動と環境保全活動に生かす。
- ・事業 (1) 常に知識の向上を図り、習得した知見を実践に役立つ講座の開催  
(2) 県民、特に各地域の環境学習・環境保全・環境監査等を実行  
(3) 行政、法人、任意団体等に対し交流の強化  
(4) 会員相互の情報交換・啓発、親睦の実施

## 2.事業計画

実施項目	内 容
1.会員相互の情報交換	・意見交換会、年2回 ・電子メール、FAX、TEL 活用による情報交換 ・有益な外部セミナーへの積極的参加
2.事業状況の対外発表	・6月「親子で楽しむ環境展」の開催 ・2月「市民環境活動報告会」の開催
3.広報活動	・「会報」の充実 ・ホームページの充実とPR URL <a href="http://members.tripod.co.jp/k_leader">http://members.tripod.co.jp/k_leader</a>
4.部会活動	・地域別活動のネットワーク新設 ・環境モニタリング部会、エネルギー部会、ケナフ部会、廃棄物・リサイクル部会、自然環境部会
5.行政への支援活動 神奈川県環境科学センター  神奈川県環境農政部環境計画課  各市(区)町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども環境体験教室」への企画、講師の協力</li> <li>・環境実習室の積極的活用</li> <li>・環境モニタリングの調査主管</li> <li>・センター主催のセミナーへ講師</li> <li>・「環境学習アドバイザー」へ参画</li> <li>・「地球温暖化防止活動推進員」へ支援</li> <li>・環境書籍購入への参画</li> <li>・環境学習、環境保全活動への支援と参加</li> </ul>
6.他環境活動団体との連携	・各会員所属団体との連携
7.役員会	・毎月1回、特別役員会1回
8.総会	・年1回
9.活動財源の確保	・受託業務の推進 ・助成金の獲得

## 部会活動

### ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

環境科学センター及び環境学習リーダー会のご協力と支援を得て、ケナフ部会の活動も5年目に入りました。環境科学センターの隣地を延長して利用させて頂く為に過去4年間の活動状況を纏めましたが、今更ながら貴重な体験をしたなと思っています([http://members.tripod.co.jp/k\\_leader/](http://members.tripod.co.jp/k_leader/))。この経験を生かして、地球環境の改善と言う共通の目標に貢献出来ればと決意を新たにしました。

本年度も昨年同様、環境学習リーダーとして各々の地元でリーダーとなり、地域同士の連携をはかり、環境科学センターを利用して頂き、更なる研修を図っていきたく考えています。具体的には

1. 各地で催される展示会に積極的に参加します。

6月8日「親子で楽しむ環境展」

かながわ県民センター

子供環境教室開催 環境科学センター学習室2

「古紙を利用した写真立て作り」(仮題)

「ケナフ染め」(仮題))

その他、環境学習リーダー会が受けた事業への参画

2. 各地でのケナフ紙漉きに協力していきます。

ケナフの紙漉き協力については昨年は横浜市、平塚市、

藤沢市、相模原市、愛川町等の各地でケナフ部員が協力要請され、小学校、町、自治会、公民館からの協力依頼も来ていますが、本年も積極的に協力してまいります。

### 3. 地域でのケナフ部会結成に協力していきます。

小生が昨年結成しました「相模原ケナフの会」では相模原市では昨年に引き続き5月10、11日での「相模原若葉祭り」で紙漉きの実演をしました。

各地に会が出来るように支援して行きます。

### 4. 更なる研究活動及び講演会を開催します。

毎年、ケナフ関係に携わっている著名な方に講演をお願いしています。因みに、

2001年 日本ケナフ協議議長

稲垣 寛先生(神戸女子大学名誉教授)

2002年 日香川県産業技術センター小林良生先生を開催しました。

本年は清水前代表のご紹介で製紙会社の見学を予定しています。

### 5. ホームページの開設

ケナフ部会の活動を、より詳細にお知らせするため、ホームページの開設をします。現在、試行中です。

環境学習リーダーの更なるブラッシュアップの為、環境科学センターのご協力を得て、昨年から一部実験を始めた臭いの吸収実験、炭焼き、編物等の更なる充実を計るとともに、他の部会との連携を計っていく所存です。

最後に環境学習リーダー会のご支援、ご協力の程をお願いいたします。

## 自然環境部会

事業担当(自然環境部会) 高田 重直

人間社会は、自然の循環系を損ねて、自然に循環のできないもの即ち、プラスチック廃棄物とか、化学物質等を大量に排出して自然環境を破壊し続けています。

地球の容量を既に1970年代に越えたことをWWFのエコロジカル・フットプリントが表しています。地球の人口はまだ加速度的に増え続け2000年には60億人をこえ、2100年には93億人になると推定されています。既に地球の環境容量を超えているにも拘わらず、さらに人口増加が拍車をかけています。

我々は、この流れに歯止めをかけるため、ライフスタイルを見直し、自然との共生を、まず第一に考えなければな

りません。

従って自然環境部会の役割は大きいと考えます。当部会の進め方については、これからじっくり議論して決めるつもりですが、当面の活動計画として以下の事業を進める予定です。ふるってご参加下さい。

### 平成15年度の行事

#### 1. 一泊二日の意見交換会(1回)

一泊の予定で自然な観察とK・リーダー会に対するご意見・ご要望を聞く会(勿論自然環境部会に関してもご意見を賜りたく)を開催します。

#### 2. 意見交換会(1回)

一日かけてじっくりとK・リーダー会の運営に関するご意見を賜ります。

## 廃棄物・リサイクル部会

廃棄物・リサイクル部会長 石丸 博司

### 活動方針 シンプルライフの推進

我々の部会のテーマ“ひと”と“環境”にやさしいエコライフ 特に「シンプルライフ」の推進と「まちづくり」に向け、昨年度はその基本的な考え方と、道具作りに携わって来ました(関わったメンバー17名)。本年度はそのための道具等の適用と活用の実践活動の年にあたります。

20世紀の経済成長を主導した大量生産・大量消費・大量廃棄システムが環境破壊と資源浪費をもたらし、21世紀の今、循環型社会への転換が急務になっています。市民社会の環境問題に対する意識は高まっていますが、実践活動はお寒い。また現在の社会環境は景気が悪い、デフレ経済、経済有事など経済の問題が優先して論議されています。

我々の活動目標「省」エネ、「省」資源で「心豊かな社会」づくり。まさに部会としては追い風であると思います。特に21世紀、日本が目指さなければならない環境負荷の少ない『循環型社会』づくりの視点から見ると、逆に日本経済の体質を根本的に変えるきっかけとして「画期的な10年にする為の活動」として、取り組んで行きたいと思えます。(前号会報 31号 部門の存在理由と方針・部会の当面の使命。参照下さい)

### 今年度の主な活動

中心課題:「シンプルライフ推進」に向けた内容の充実と道具性の開発。

エコライフ健康診断の質問紙・パソコン入力によるカルテのためのソフト開発中。

### 主な働きかけの対象:

- ・神奈川県 関係部門への普及啓発活動と働きかけ。
- ・リーダー会・地域担当メンバーへのプログラムの紹介と支援・協同推進。
- ・県内市町村 関係部門への普及啓発活動と働きかけ。
- ・部員による地域主体者(自治会・地域団体など)への普及啓発活動と働きかけ。

5月例会は「親子で楽しむ環境展」の準備などで具体的な活動計画までつめられませんでした。(次回会合で明確にします。メール・Fax等でお知らせしますので、ご連絡ください。)

日時:6月15日(日曜日) 13:00~17:00

(終わってから会食会予定)

会場:えびな市民活動サポートセンター

046-235-6845

次回以降、会場は横浜が大和・平塚等も含めて検討したいと思えます。

# 環境モニタリング部会

部会長 佐伯 秀夫

平成 15 年度部会活動計画

## ・活動方針

当部会が主要テーマとして実践、フォローアップを進めている「誰でも参加できる環境モニタリング技法」については、昨年度、関係者のご努力により「環境マップ」の作成方式が定まり、加えて同情報が当リーダー会のホームページに掲載することも可能になったことから、本年度もタンポポ、ツバメ、ジョロウグモに関するモニタリング活動の尚一層の普及を図っていく。

一方、「アジェンダ 21 かながわ」の見直し時期にあたり今後ますます環境学習の活性化ニーズが高まることは必須であるから、そのようなニーズに対処するため部会員が夫々の環境学習指導能力の向上が図れるように、タンポポ、ツバメ、ジョロウグモによるモニタリング実践活動、

酒匂川探水隊による河川に関する実践活動、NO<sub>2</sub>簡易測定調査の実践活動等、部会の実践活動内容について見直し検討を図っていく。

## ・活動計画

### 1. 県民参加による環境モニタリング手法」の実践。

昨年に続き自然度調査（タンポポ、ツバメ、ジョロウグモ）、NO<sub>2</sub>濃度調査を実施し、その調査結果を可及的速やかに地図情報化していく。調査時期は以下のとおり。

#### 1) 自然度調査。

- タンポポ : 主として4月(3月中旬~5月中旬)
  - ツバメ : 主として6月(5月中旬~7月中旬)
  - ジョロウグモ: 主として10月(9月中旬~11月中旬)
- 尚、本年4月から採用することになった共通の「調査票」について、その効果を期待することとしたい。

#### 2) NO<sub>2</sub>濃度調査。

- 6月度調査
  - ・サンプリング: 6月5日(木)~6日(金)
  - ・分析測定: 6月14日(土)
- 12月度調査
  - ・サンプリング: 12月4日(木)~5日(金)
  - ・分析測定: 12月13日(土)

### 2. 「酒匂川水系探水隊」活動の推進。

- 1) 調査日程(全5回): 4月20日(日)  
6月1日(日) 7月20日(日)  
9月14日(日) 10月12日(日)

原則として雨天決行、J R松田駅前広場9:00 集合

#### 2) 調査内容:

酒匂川、同支流を富士山に向かって調査を進める。  
調査対象は「シマイシビル」「ミズムシ」「ヨコエビ」の3種とし、それらの有無を調査する。  
新種、珍種、奇種を見付けた時は採集する。

### 3. 環境科学センター「子ども環境体験教室」への参加。

本年度、環境科学センターが開催する標記「子ども環境体験教室」に当部会としても協力していく。具体

策については検討会にて検討中。

### 4. 分野別教育チームの発足。

学校や地域グループ等の要請による出前教育が実施できるよう、以下の分野別教育チームを発足させ、教育ニーズに対処していく。

- (ア) 大気・自然度に関する教育チーム。
- (イ) 川に関する教育チーム。

### 5. 「環境展」への参加。

本年度も、K・リーダー会主催の対外発表「環境展」を下記により開催することになったので、当部会としても積極的に参加し、環境モニタリングの普及を図るためのPRの場として活用を図ることとする。

- 日時: 6月8日(日)
- 場所: かながわ県民センター1F 展示場

部会活動予定(6月初旬~8月末)

#### 1. ツバメ調査活動

調査期間: 5月中旬~7月中旬、県民参加大歓迎

#### 2. 酒匂川水系探水隊活動

実施予定日: 6月1日(日) 7月20日(日)  
集合: J R松田駅前広場、9時

#### 3. 6月NO<sub>2</sub>測定調査活動

- ・5月24日(土): 捕集管組立て配布
- ・6月5日(木)~6日(金): 24時間サンプリング
- ・6月14日(土): NO<sub>2</sub>分析測定

#### 4. 環境展への参加

#### 5. 子ども環境体験教室への協力

部会活動報告(4月~5月)

#### 1. タンポポ調査活動

調査期間: 3月中旬~5月中旬  
調査データ提出締切日: 5月31日  
提出未済の方は、至急、KEREC宛送付して下さい。  
(会員の方は佐伯宛直接でも結構です)

#### 2. 酒匂川探水隊活動

実施日: 4月20日(日) 天候: 雨、参加人員: 8名  
場所: 小田原市消防署北分署管内

調査結果:

体長わずか1センチにも満たないヨコエビが酒匂川右岸のいたる所で採集された。自然の摂理を曲げてまでも「生き抜く生存能力」を持つ...恐ろしいヨコエビ???次号で詳しく報告したい(斉藤昭一氏の声)

#### 3. 部会5月例会の開催

開催日: 5月24日(土) 10:00~12:30

主要テーマ:

- 1) 「子ども環境体験教室」の検討経過報告と参加講師の選定
- 2) 「親子で楽しむ環境展」の検討経過報告と参加担当者の選定
- 3) 「分野別(大気・自然度、川・水)教育」の進め方について
- 4) ツバメ調査の進め方について(新「調査票」紹介)

# エネルギー部会

部会長 北村 博子

## 1. 年間活動方針と計画

### 1) 活動方針

歴史に学べば、「気候変動(地球温暖化)」は、「文明の崩壊」を結果として招いているようだ。そして又、エネルギー多消費による「近代西洋型文明(現代文明)の繁栄」は、自らの「文明」の崩壊をもたらすことになるのかもしれない。

地球の循環の中で、自然の営みの恵みを食いつぶし、循環の環に組み込まれないものを作り出し循環の環を離れるとき、人間がその生を委ねている自然の逆襲を受けるのは、他ならぬ人間である。

自然と人間との共存とは言うけれど、まず折り合いを付けなければならないのは、自然の一部としての「ヒト」と、欲望を自然の営みの中で抑制できず生態系を攪乱する人間とではないか。「ヒト」と人間との折り合いのつけ方が、文明の形を変え、地球と人類の未来を左右する。

「地球温暖化」を含む「気候変動」をくい止めるには、自然から学び、人の暮らしの在りようを変えなければ、地球が人間の都合に合わせてくれるわけには行かない。

さて、本年度の活動方針としては、差し迫る「エネルギー問題」を千載一遇の好機と捕らえ、「地球温暖化防止」の啓発・普及活動を「生活の見直し」から「生活様式の変換」へ重点を置き、「簡素な生活」「少エネ生活」を、「小・中学校総合的な学習」・「地域への出前省エネ教室」・「省エネ診断」・「環境家計簿」の取り組みなどで提唱を続けていきたい。

### 2) 活動計画

小・中学校総合的な学習・環境学習の出前学習

プログラム作成：1校時・5校時～10校時

(神奈川県環境学習リーダー・エネルギー会=以下「KGエネルギー会」と言う=に協力)

出前「省エネ教室」・小・中学生・一般社会人  
公民館・地区センター・地域用プログラム作成

：単発2時間～4時間、2日～3日用

(KGエネルギー会に協力)

「省エネ教室」(KGエネルギー会主催)

夏休み・省エネ月間開催後援

プログラム検討・楽しい見学会等。

(KGエネルギー会に協力)

省エネ診断

研究開始(KGエネルギー会に協力)

民生業務部門(中小企業)・省エネ診断等

研究開始(KGエネルギー会に協力)

環境家計簿・ISO14001 発想プロセス導入の試

研究開始(KGエネルギー会に協力)

新エネルギー啓発

研究開始(KGエネルギー会に協力)

## 2. 活動予定

1) エコハマ市民大会展示(KGエネルギー会に協力)

日時：6月1日13:00～17:00

場所：横浜市桜木町・浜銀ホールヴィアマーレ

2) みどり'97会「省エネ教室」(出前教室)

(KGエネルギー会：講師：北村)

日時：6月3日10:00～12:00

場所：横浜市白山地区センター

3) 親子で楽しむ環境展展示出展

(KGエネルギー会と合同)

日時：6月8日10:00～16:00

場所：かながわ県民センター 1階展示場

\*当日、「KGエネルギー会」は資源エネルギー庁からの推薦を受け、「ニッポンみたまま」(内閣府広報テレビ番組)「省エネルギー」の取材を受ける。(但し、「親子の楽しい省エネ教室」としての取材)

4) 横浜市環境月間パネル展示

(KGエネルギー会に協力)

日時：6月9日10:00～6月15日15:30

場所：横浜市市民活動支援センター

5) 福井県地球温暖化防止活動推進員研修会講演

(KGエネルギー会：講師；北村)

日時：6月14日13:30～15:30

場所：福井県織協会館

6) 秦野市環境家計簿エコリーダー打ち合わせ

(KGエネルギー会：講師：北村)

日時：6月25日(火)13:30～

場所：秦野市市役所

7) 出前省エネ教室(KGエネルギー会に協力)

日時：7月12日13:30～15:30

場所：平塚市金目公民館

8) 秦野市講演会

環境家計簿について講演会と説明会

(KGエネルギー会：講師：北村)

日時：7月18日10:00～11:30

場所：秦野市本町公民館

9) 子ども環境体験教室「省エネ」

(KGエネルギー会と合同)

日時：7月27日10:30～15:00

場所：神奈川県環境科学センター

10) 「夏休み環境工作教室」(出前省エネ教室)

(KGエネルギー会に協力)

日時：8月24日13:30～16:00

場所：横浜市緑区白山地区センター

11) 例会

日時：6月22日(日)14:00～17:00

場所：かながわ県民センター 701

日時：7月13日(日)14:00～17:00

場所：かながわ県民センター 701

日時：8月17日(日)14:00～17:00

場所：かながわ県民センター 704



## = 豆知識のページ =

# 環境ISOのまちづくりを目指して

～「市民(ファミリー環境ISO)」と「学校(わかば環境ISO)」への展開～

今回は、平塚市で実施されている「ファミリー環境ISO」と「わかば環境ISO」について、平塚市環境政策課 上席課長代理 勝俣俊子さんにお伺いしました。

Q：そもそも、ファミリー環境ISOをやろうと思われたきっかけは何ですか。

A：本市は、2000年2月にISO14001の認証を取得しました。これは行政が環境配慮に対し率先して行動しようというものです。この取組みをきっかけに、「平塚市環境基本計画」や環境ISOの趣旨を生かした「環境ISOのまちづくり」の推進となりました。現在、事業所の認証取得支援、ファミリー環境ISO(市民)の推進とともに、わかば環境ISO(学校)の推進を行っています。

Q：ファミリーISOの特徴はどのようなところでしょうか。

A：4人家族を基本にプログラムを作りました。役割分担を決め(リーダー、記録係、監査係、ごみだし係りなど)、チャレンジメニュー(118項目)から「ぜひ取り組みましょう」を5項目以上、「普段から取り組みましょう」「チャンスがあったら取り組みましょう」をあわせ合計10項目以上の取り組み目標を作ってもらいます。はがきで市に登録し、6ヶ月間チャレンジした記録をつけ、認定審査に申し込み、審査し、環境ファミリー認定証を市長から手渡す、というステップで推進しています。

Q：今まで認定証を発行されたのは何家族でしょうか。

A：チャレンジは13年度8家族、14年度4家族です。チャレンジ期間が6ヶ月と長く、お年よりは「そのような取り組みはやっている」といった声もあるので、一般家庭の実態調査をしようと考えています。そして参加者を増やす改善策をつくっていきます。

Q：自治会の取り組みがあると聞きましたが、どのようなものでしょうか。

A：市内虹ヶ浜西部自治会では、チャレンジメニュー118項目から15項目を選んで、自治会の中で参加者を募り、実践を6ヶ月記録することにチャレンジしてくれました。13年度は169軒、14年度は189軒が実施し、自治会に奨励賞を発行しました。



Q：学校でISOの取り組みを推進していると聞きましたがどのようなものですか。

A：ネーミングを、わかば環境ISOとつけました。若々しい木が将来大樹になるのをイメージしました。幼稚園、小学校、中学校の合計48校が、2年以内にすべて取り組みを実施してもらうことになっています。14年度は6校に認定証を発行しました。

Q：わかば環境ISOの特徴は何でしょうか。

A：推進責任者(生徒会長など)を決め、「役割分担カード」「メニューカード」「できたかなカード」「ステップアップカード」などを作成し、実践を記録していきます。審査員は校長がPTAなどから選任します。わかばISOの特徴は、学校の特徴をメニューのひとつに入れていただいています。学校花壇による緑化、EM菌による給食残渣の資源化といった項目に取り組んで頂きました。

Q：ファミリーISOと、わかばISOの連携が期待できますね。

A：子供に刺激されて、家庭でもやるようになったという声を聞きます。ファミリーISOは、個別のファミリーチャレンジを増やすことはもちろんですが、自治体との連携でチャレンジ家族を増やすことも視野に入れて、取り組みを前進させていきたいと思っています。

最後に平塚にも、環境のリーダー的達人がたくさんいらっしゃると思っています。現在募集しています「ひらつか環境ファンクラブ」に是非登録をしていただき、知識、経験を市民のために提供していただきますようお願いいたします。

(広報部 原園 信夫)

## 会員の広場

### わたしの ボランティア活動

6期 萩原 秀人

K・リーダー会でエネルギー部会の萩原です。わたしの活動経験を紹介させていただき、何かのご参考になればとお思い筆をとりました。

わたしは、某メーカーに就職し、全国8箇所10回の引越しを伴う転勤をしてきました。一場所に約3年間の勤務で、慣れた頃に引越して。9年前の京都府にいる時に、出身地の横浜に居を構え、石川県の金沢市に単身赴任後の、5年程前に横浜に戻ってきました。50歳に近づき、将来を考え「何か地域とのかかわりをもち、地域に少しでもお役に立てないか」と、考えました。その頃は、環境ISOが話題になり始めた頃で、1997年3月に社内のISO事務局長としてISO14001認証取得を経験し、私を環境ボランティア活動へと誘いました。

そもそも、わたしと環境との出会いは、入社時点で戻ります。そのころは、オイルショックと公害問題が社会問題となり、公害基本法ができました。わ

たしの最初の仕事も排水処理施設の設計施工管理でした。その後、大気、水質の公害防止管理者や、熱、電気のエネルギー管理士などを経験しました。「一番環境関係が親しみ易く活動できるのでは」と、考えていました。

そんな折、環境学習リーダー養成講座を受講し、連絡会に6期生として入会できました。暫らくして、エネルギー部会長の北村さんから声をかけられ部会活動を始めました。

部会では、「親と子の楽しい省エネ教室」の講師を担当し、市民への啓発を行なっています。昨年は、環境科学センター主催の夏休み子ども体験教室なども手伝うことができました。部会以外では、清水前代表からお誘いをいただき磯子区の生涯学級の運営委員として参加し、本年も続けさせていただいています。

現在も勤めている関係で、月に3~4日のペースで、K・リーダー会役員や部会の仲間の方々のご配慮、ご支援とご協力をいただきながら無理のない活動を行なっております。現役で仕事をお持ちの皆様もできる範囲で活動を行なってみてはいかがでしょうか。会員の皆さんの中に何かこれから活動したいと考えている方がおられましたら、是非、部会に入ったり、会が行なう活動に参加したりして一緒に活動しましょう。

### 私達の取組

8期 平野 雅明

9期 平野 英子

私達夫婦は、ともに民間人であり、環境という共通項でK・リーダー会に入会している。大学の同級生であり、お互い技術士として全国を飛び回っているが、社会活動の点では物足りなさを痛感し、ジレンマを感じる日々である。日頃の業務の中での最近の活動事例につき簡単に報告する。

#### 環境施設における取組(平野 雅明)

本年3月福島県の某地区にごみ中間処理施設を納入した。このクラス(80t/d)では最新鋭のストーカ式焼却炉でリサイクルプラザを併設する施設である。ダイオキシン等環境負荷の低減と循環型社会への貢献を特徴とした施設であるが、建設にあたり発注者との協議を経て、環境施設としての機能を提案した。具体的には次の2点である。

玄関ホールに永遠の環境をイメージした壁画を壁一面に施工

東京12chのTVチャンピオンの画家が表現した、明るく夢一杯の抽象画を提供。

環境ソフトの提供

見学者(対象は主に小学生)来訪時のオリエ

ンテーリング用にパソコン&プロジェクターのツールと『環境とは何か?』を説明する環境学習ソフトを作成提供した。

以上、環境情報発信の機能を付加することで、親しみやすく且つ地域と共に歩む施設として提供、本ソフトを用い説明を実施し、生徒&先生に好評を得ることができた。

#### 環境への関心を高める取組(平野 英子)

私が環境に関心を持ったのは、生まれ育ったところが海の近くだったからだと思っている。現在は、埋め立てられ「海の公園」として整備されているが、むかしは遠浅の良い遊び場だった。海洋汚染が進む様子は、幼かった頃の記憶とともに残っている。

会社に入社してからは、主に発電所の「環境アセスメント」に従事してきた。発電所の計画段階で「環境影響評価法」により地元で説明会が開催されるが、理解の度合いがいつも気になっている。専門用語は判りにくく環境への予測評価は複雑である。K・リーダーの講習で学んだことの実践はまだ進んでいないが、地元住民が参加する環境モニタリング等を提案し環境への関心が高まるようなお手伝いが出来ればと思っている。

今後は子育て終了とともに、夫婦で仕事とは別の面で社会との接点を少しずつ進めて行きたいと考えている。

# 環境科学センターからのお知らせ

環境学習リーダー会の県内各地での多種多様な環境保全活動が今後もますます発展していくことを期待しております。

さて、1月に実施しました人材情報調査及び活動状況調査につきましてはご協力ありがとうございました。人材情報調査に関しましては、それを基に「神奈川県環境学習リーダー人材情報」を全面改定し、県内全市町村の関係部局及び教育委員会に配布し、積極的な活用を依頼すると同時に、当センター環境学習のホームページ上でも公開し活用の促進を目指していきます。ホームページも是非一度ご覧下さい（<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/learning/toppage.htm>）。追加や変更したい内容がございましたらお申し出下さい。新たに登録したい方もどうぞお

申し出下さい。また、「神奈川県環境学習リーダー人材情報」により市町村、学校、地域活動などから協力の依頼がございました折には、是非、積極的にご協力していただきたいと思っております。

活動状況調査に関しましては貴重なご意見を参考にさせていただき、今後の当センターの環境学習事業に活かしていきたいと考えております。

当センターの環境学習事業の案内（情報）を入手したいとの要望も数多く寄せられましたので、今年度の行事予定を掲載させていただきます。個々の行事に関しては日程や内容が決まりましたら、「県のたより」及び当センターのホームページ等で広報いたしますのでご覧下さい

## 平成15年度 講座・教室・研究発表会のお知らせ

日程	行事名	対象	内容	*
4/14～18	環境科学センター施設公開	県民	当センター全館を公開します	-
6/16(月)	環境・公害研究合同発表会 (会場：横浜市教育文化センター)	県民 500名	県・横浜市・川崎市の関係研究機関の研究成果を発表します	5
7/5.6.12	環境実践者支援講座(全3日) <環境調査コース>	県民 20名	大気・水質・水生生物などモニタリング理論・手法を深めます	6
7/29.30. 8/1	環境実践者支援講座(全3日) <環境教育支援コース>	教職員 32名	学校で環境教育の実践を目指す教職員を支援します	7
7/20～26	環境自由研究支援教室	小中学生	環境問題の自由研究での実験法の相談、実験の指導を行います	7
7/22 7/27 8/5 8/20 8/27	子ども環境体験教室(5教室) ツバメ・朝顔で環境チェック 節電コンセントを作ろう ソーラークッカーを作ろう 写真たてを作ろう ケナフ染めに挑戦しよう	小4～ 中3  各回 24名	工作や実験、観察など楽しみながら環境について考えます (保護者同伴可)	7
9～10月	環境実践者養成講座(全5日)	県民 40名	環境保全活動の実践者(環境学習リーダー)を養成します	8
11月	環境実践者支援講座(全3日) <地球温暖化防止コース>	県民 40名	地球温暖化防止活動に率先して取り組める人材を養成します	10
12月	環境科学センター研究発表会	県民 200名	環境科学センターで行われている研究成果を発表します	11
1～2月	環境実践者支援講座(全3日) <循環型社会コース>	県民 40名	廃棄物問題やリサイクルの観点から循環型社会を目指します	12
2/15	市民環境活動報告会 (会場：県民サポートセンター)	県民 200名	環境保全活動を行っているグループの活動状況等を報告します	1

\*は「県のたより」の掲載予定月です

# 「子ども環境体験教室」今年も開催

新規プロジェクト担当 木本 光昶

昨年の夏に実施された「子ども環境体験教室」が、今年も環境科学センターの主催、K・リーダー会の協力で、開催されることになりました。

教室の企画・立案、講師の派遣は、昨年と同様、会員の皆さんのご協力を得て当会が担当します。前回のようなまとまった形での「子ども環境体験教室」の開催は、当会にとって初めての経験ということもあって、いくつかの反省すべき点がありました。

そこで、これらの点を踏まえて環境科学センターと協議し、次のような改善をおこなって実施することになりました。

1. 昨年は教室数が多く、開催期間も3ヶ月にまたがって実施されたため、PRが徹底しなかった。そこで、今年は教室数を5教室に絞り、

開催期間も約1ヶ月に短縮する。

2. 教室の募集人員を1教室30名から24名に減らす。
3. チラシに掲載する教室名やキャッチコピーは、内容が具体的に判るようにし、親しみやすくなるよう工夫する。
4. 教室の持ち時間も、子どもたちが疲れないうでできるだけ短くする。
5. 子どもたちに教える内容をより判りやすく、正確にするために、事前にテキストの作成担当者や作成経験者が集まり検討会を開いて、意見交換する。

そして、次のような内容で教室が開催されることになりました。

## [平成15年度子ども環境体験教室]

	教室名	日時	備考
1	ツバメ・朝顔で環境チェック	7月22日(火) 13:00~16:00	[実施場所] 神奈川県環境科学センター
2	節電コンセントを作ろう	7月27日(日) 10:30~15:00	[対象] 小学校4年~中学校3年 (保護者同伴可)
3	ソーラークッカーを作ろう	8月5日(火) 10:00~14:00	[費用] 無料 [募集人員] 24名
4	写真立てを作ろう	8月20日(水) 10:00~15:00	[問合せ先] 神奈川県環境科学センター
5	ケナフ染めに挑戦しよう	8月27日(水) 10:00~15:00	環境学習担当 TEL 0463-24-3311

なお、本件についての詳細は同封した「子ども環境体験教室」のチラシをご覧ください。

## 掲示板

親子で楽しむ環境展

今年もK・リーダー会の主催で行われます。

日時：6月8日10時~16時

場所：かながわ県民センター1階

別刷の案内書を参照下さい。

会費納入のお願い

当会の活動は皆様の会費でささえられています。

14年度の会費未納の方及び15年度の会費お払い込みのために振替用紙を同封いたします。皆様、多忙とは存じますが、早めに郵便局でお振込みをよろしくお願い申し上げます。

郵便局振替番号：00230-4-30769

神奈川県環境学習リーダー会

## 編集後記

先般の総会で、事業報告/計画等内外の活動が報告され、更に会費の値上げも決定しました。これも活動の活発化に伴うもので、会の原点である会員相互の情報交換はもとより、外部への情報発信が極めて重要になっており今や、会費収入の約50%を広報関係経費で支出しています(14年度)。今後益々広報活動は重要になるため、広報部では会報とHPの内容の充実を目指しますが、会員の皆様からの情報提供と協力が不可欠なのです。

一人でも多くの方が広報部へ参加されますことをお待ちしております。  
広報部 黒澤 宏

発行人：神奈川県環境学習リーダー会

代表 近藤 作司

編集人：広報部長 黒澤 宏

TEL/FAX 0463-88-5193

発行日：2003年5月31日